

2009年度

科目名	ゼミナールⅡ			
担当教員	小谷 卓也			
配当	教福4		コード	80011
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 4
授業テーマ	卒業研究に必要な情報検索能力、調査計画能力、データ解析能力、プレゼンテーション能力などの習得			
目的と概要	ゼミナールで決定した卒業研究のテーマに関する先行研究結果をもとに、実際に調査(実験)計画を立てる。さらに調査(実験)の結果得られたデータを詳細に分析して考察し、卒業論文をつくりあげる。最後に、卒業研究について発表を行い、今後の研究課題を明らかにする。			
成績評価法	卒業研究への取り組み(平常点)、卒業論文の質、卒業研究発表、ゼミへの貢献度などによって総合的に評価します。			
テキスト	ゼミ生個々の研究テーマにあった文献や資料を準備します。			
参考書	必要に応じて紹介します。			
履修に当たっての注意・助言				
講義計画				
[学習項目]	[学習内容]			
<p>第1回卒業研究の年間計画の立案 自らの研究課題に対し、年間を見通した長期の計画を立てる。</p> <p>第2回調査(実験)計画の立案(1)実行可能な調査(実験)計画を立てる。</p> <p>第3回調査(実験)計画の立案(2)立案された調査(実験)計画をもとに、物的・人的準備を行う。</p> <p>第4回調査(実験)の実施(1)関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第5回調査(実験)の実施(2)関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第6回調査(実験)の実施(3)関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第7回調査(実験)の実施(4)関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第8回調査(実験)の実施(5)関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第9回調査(実験)の実施(5)関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第10回調査(実験)の実施(6)関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第11回調査(実験)の実施(7)関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第12回調査(実験)結果の整理(1)調査(実験)の結果得られたデータを、表やグラフを用いて整理する。</p> <p>第13回調査(実験)結果の整理(2)調査(実験)の結果得られたデータを、表やグラフを用いて整理する。</p> <p>第14回データ分析(1) 調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。</p> <p>第15回データ分析(2) 調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。</p> <p>第16回データ分析(3) 調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。</p> <p>第17回データ分析(4) 調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。</p> <p>第18回研究結果の考察(1)データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第19回研究結果の考察(2)データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第20回研究結果の考察(3)データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第21回研究結果の考察(4)データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第22回研究結果の考察(5)データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第23回卒業論文の作成(1)これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第24回卒業論文の作成(2)これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第25回卒業論文の作成(3)これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第26回卒業論文の作成(4)これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第27回卒業論文の作成(5)これまで部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第28回研究成果の発表(1)卒業研究の成果を、他者に発表する準備を行う。</p> <p>第29回研究成果の発表(2)卒業研究の成果を、他者に発表する準備を行う。</p> <p>第30回卒業研究成果発表会卒業研究の成果を互いに発表し合い、討論する。</p>				